

令和6年度 第1回学校運営協議会 会議録 (要点記録)

- 1 開催日時 令和6年4月22日(月) 13時45分から15時40分まで
- 2 開催場所 与進北小学校 ひだまり
- 3 出席委員 栗田 孝代、中根 その美、森田 良信、高木 みゆき
佐藤 真、高杉 威一郎
石田 みゆき(学校支援コーディネーター)
田光 美智代(学校支援コーディネーター)
- 4 欠席委員 西村 進也
- 5 オブザーバー 村田 弘貴(長上協働センター主事)
- 6 学校 河合 勝之(校長)、山田 正典(教頭)、各務 哲人(CS担当)
瀧本 恵子(CSディレクター)
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 瀧本 恵子

9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、中根委員から栗田委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された栗田委員から、森田委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、栗田会長から中根委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1)令和6年度 学校教育活動の基本方針について
- (2)夢育やらまいか事業に対する意見書について
- (3)その他(いじめ対策について)

12 会議記録

司会の山田教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1)令和6年度 学校教育活動の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

・先生の時間外労働について現状を教えてほしい。(森田委員)

⇒上限が月 45 時間だが、収まっている人といない人がある。45 時間を超えないようにしているが、超えた場合は翌月調整するようにしている。職員個々で状況が違う。(校長)

・子供の良いところは学校の教育を経て培われているのか、それとも地域柄なのか。(佐藤委員)

⇒両方ではあるが、地域、家庭の力が大きい。学校は後押ししている。(校長)

・家の前が通学路で、登下校の様子を見てみると、大きい子が車道側で小さい子を歩道側にするという気遣いをしている。あいさつもできる。子供からあいさつしてくれるとこちらも声を掛けやすい。学校、家庭、地域の力で、基礎的、根本的なことは小学校の間に教えていくべきだと常々感じている。(高木委員)

・1 月 1 日に能登地震があったが、防災のことを聞きたい。目指す学校の「④危機管理意識の高い学校」が防災につながると思う。(高杉委員)

⇒災害が多く、浸水して休校ということもある。学校は緊急避難場所にはなっている。校庭を貯水池にする計画、工事の話はある。防災については遅れていて、施設的には対策をしてもらっているが、子供たちの意識はそこまでっていない。(校長)

・長上協働センターで地区の防災訓練を行い、子供講座として子供たちを安間川遊水地に連れて行った。今まで訓練を見たことのない子が多かったが、実際に放水を見たりすることで防災に対する意識が高まったようだ。子供講座を続け、講座を介して子供たちには防災意識を高めてほしい。行政も学校教育とは別のところで地元の団体と協力できるようにしていきたい。(村田オブザーバー)

・一昨年、みらいネット浜松作成の防災すごろくを 5 年生に実施したことで、防災意識を高めてくれたのではないかなと思う。避難訓練や備蓄等、考えることはたくさんあるが、地震はいつ起きてもおかしくないもので、空論ではなく、実際に準備をしておかなければならない。(高木委員)

・安間川遊水地については、知っていても使うことができると知らない大人が多い。周知の仕方が大事で、必要な時に必要な場所で、誰が見てもわかるようにしなければいけない。そういう理由で CS もたくさん掲示をしている。(石田委員)

・安間川遊水地は申請をすれば誰でも使うことができる。トイレはいつでも使えるわけではなく、管理者がいて許可を取った時や、申請を出した人たちが主として利用できる。遊水地の 3 分の 2 は県の管轄で、3 分の 1 が市の管轄。秋までには整備が終わるので、通ったらぜひ見てほしい。芝生管理は 4 月から 11 月に、学校関係者、消防団、自治会で行っている。(森田委員)

・防災訓練の時の消防団の号令に、子供たちが興味を持って真似をしていた。覚えておくと災害で動揺している時に役立つかもしれない。(石田委員)

・必要があれば消防団に号令の指導を依頼することができる。(森田委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

(3) その他(いじめ対策について)

議長の指示により、校長から別紙資料に基づきいじめ対策について説明があり、委員からは以下の発言があった。

・自分の子供も中学3年生。信頼関係が大事で、何かあった時に子供たちが頼ってくれる環境を保っていききたい。学校でも家庭でも地域でも、誰々なら話せるという環境があると良い。(田光委員)

議長より以上で熟議終了の通告があった。

13 報告

学校支援コーディネーターの石田委員から以下の報告があった。

- ・1年生の給食と下校に打ち合わせなしで参加させてもらった。下校については初日に問題が発生したが、問題をその場で1年生の先生たちが話し合い、即日対応したので、怒っていた保護者も納得した。翌日は笑顔もあった。配布する書類は他から引っ越してきた人も含め誰が見てもわかる書類でなければいけない。
- ・給食には栗田会長と中根委員と一緒に支援に入った。1年生の先生方より、準備と片付けに補助が必要だが打ち合わせの時間もないので、当日来てくれるだけで良いという話を聞いた。
- ・下校と給食は来年度についてみなさんと相談していきたい。
- ・市の創造都市文化振興課が管理する「地域学校協働ボランティア」という組織ができた。登録すると、いつでもどこでも参加したい人がボランティアに参加できる。長上地区でも今年の3月まで教員をしていた人が1人登録した。行政もまだ取り扱いを模索中ということなので、こちらも関わり方を考えていきたい。また報告する。
- ・ながら見守りをする時に不審者と間違えられないように何か印が欲しい。3年以上活動している団体が申請できる助成事業がある。その活用についてまた相談したい。

14 連絡

教頭より、次回会議は6月24日(月)13時45分からひだまりで開催する旨の連絡があった。